

IDS/IPS : コンソール アクセスに対する Cisco Secure IDS Sensor COM ポートの使用

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[必要なケーブル](#)

[ヌル モデム ケーブル ピンアウト](#)

[COM ポートを使用してログインする方法](#)

[関連情報](#)

概要

一部のタスクでは、Cisco Secure Intrusion Detection System (IDS) /Intrusion Prevention System (IPS) Sensor に直接ログインする必要があります。たとえば、Cisco Secure IDS/IPS Sensor を初期化するには、CLI にログインして、**setup** コマンドを実行する必要があります。Cisco Secure IDS Sensor へのログインを必要とするその他のタスクには、Cisco Secure IDS/IPS Sensor の IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイの変更や、特定のエラーのトラブルシューティングなどがあります。

Cisco Secure IDS/IPS Sensor へは、次のいずれかの方法でログインできます。

- システム コンソール経由 (直接接続されたモニタとキーボード)。
- Cisco Secure IDS/IPS Sensor への Telnet。
- https を使用した Cisco Secure IDS/IPS Sensor の参照。
- Cisco Secure IDS/IPS Sensor の COM ポートに PC を接続し、通信パッケージを使用する。

このドキュメントでは、最後の方法で Cisco Secure IDS/IPS Sensor にログインする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Secure IDS バージョン 4.x および IPS 5.x 以降に基づいてい

ます。

注: このドキュメントで説明するケーブルは、2.2.0.x 以降のすべてのバージョンのセンサーで動作します。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

必要なケーブル

PC を Cisco Secure IDS/IPS Sensor の COM ポートに接続するには、DB-9-to-DB-9 ヌルモデムケーブルが必要です。このケーブルはシリアル LapLink またはファイル転送ケーブルとして販売されています。ヌル モデム アダプタ/コネクタは、この用途で常に機能するとは限らないため、注意してください。ケーブルを自作する場合のために、このドキュメントにはヌル モデム ケーブル ピンアウトが記載されています。両端に DB-9 メス コネクタが必要です。

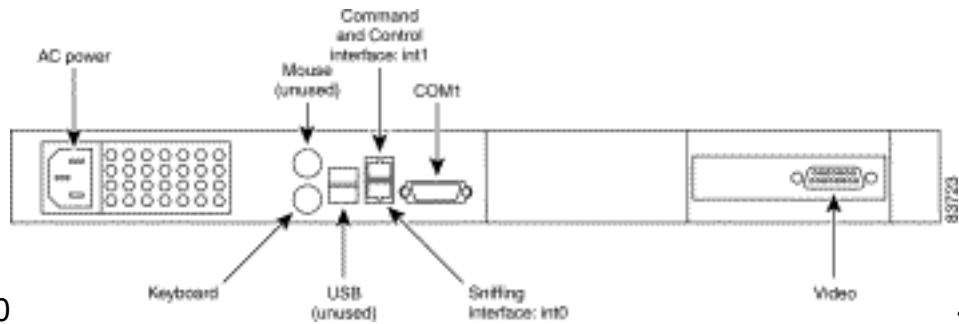
ヌル モデム ケーブル ピンアウト

ピン	方向	ピン
1 および 6	-->	4
2	-->	3
3	-->	2
4	-->	1 および 6
5	-->	5
7	-->	8
8	-->	7

COM ポートを使用してログインする方法

次の手順を実行します。

1. [ヌル モデム ケーブル](#)を使用して、PC 上の該当する COM ポートを Cisco Secure IDS Sensor の COM 1 ポートに接続します。Cisco Secure IDS Sensor の各種モデルにおける COM 1 ポートの位置を次に示します。

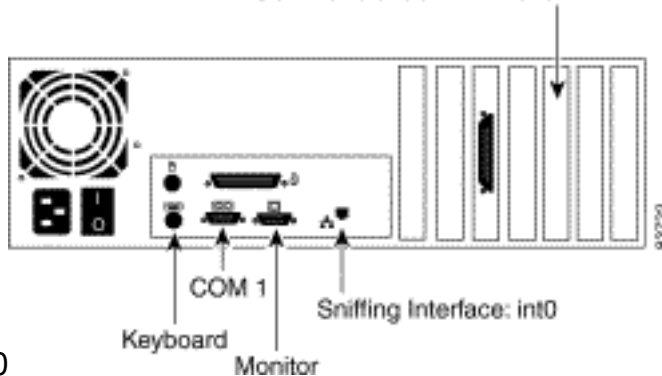


4210

42154215 Sensor に

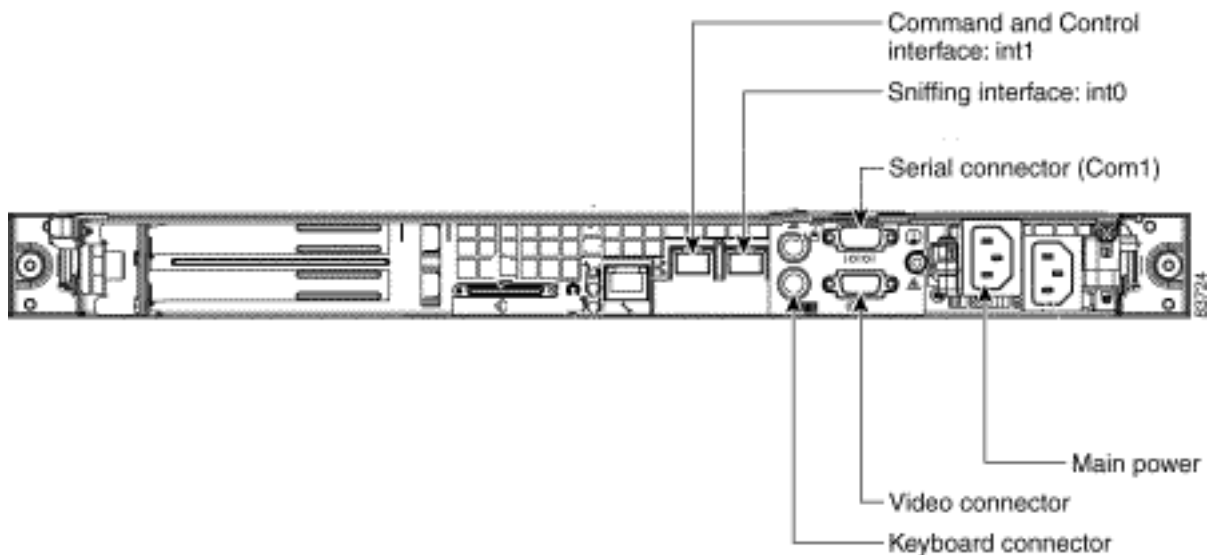
は RJ45 コンソール ポート コネクタがあります。アクセサリ キットに含まれている DB-9 または Db-25 アダプタと RJ45 コンソール ケーブルを使用してコンソールを接続します。

Command & Control Interface: int1



4220/4230

4235/4250



2. PC と Cisco Secure IDS Sensor が接続されたら、PC で通信ソフトウェアを開始します。次の表に従って通信ソフトウェアの COM ポート設定を行います。
3. 通信ソフトウェアを使用して、PC の COM ポートを Cisco Secure IDS Sensor に接続します。コールが成功すると、<sensorname> login: プロンプトで発行します。初めてログインする場合は、デフォルトのユーザ名/パスワード (cisco/cisco) を使用します (パスワードの変更が求められます)。

関連情報

- [Cisco IPS 4200 シリーズ センサー サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)